

コラム ラブちゃん日記 Vol.3



11歳を過ぎた老犬の私でも「お仕事」を持っていて、年間に6~7回程病院や福祉施設・学校・幼稚園などでの「訪問活動」に参加しています。人と触れ合うことが大好きな私は、介護施設の比較的反応が弱い老人の方からバタバタ走り回る幼稚園の子供たちまでとにかく撫でて貰えるだけでうれしくて、尻尾を振りっぱなしでこの5年間で30回程お仕事をして来ました。「ふれあい活動」は私の飼い主のお母さんと私とのチーム活動なので、私の動きを誘導するハンドリングと、患者さんや入居者さんへの言葉かけが大切です。

通常はこのようなチームが7~10組程度で各種施設にお伺いしていますが、コーディネーターは事前に受け入れ先の施設をチェックし、施設の担当者の方と念入りに打合せを行って私たちにかかるストレスを最小限にしてくれています(こと私に限ってはストレスなどと無縁ですが)。私たちも活動日の直前に動物病院で健康チェックをし、トリミングやシャンプーをしてもらい施設内に感染症を持ち込まない最大限の努力をしています。

最近の「訪問活動」では私たちとのスキンシップだけでなく、患者さんや入居者さんにリードをもっていただいて一緒に散歩をしたり、患者さんにボールを投げさせていただいてそれを回収して来たり、「芸」が出来るワンちゃんたちによる一発芸のデモンストレーションなどバリエーションが豊富になってきました。わたしも皆さんに撫でていただいて大変うれしいのですが、表情が乏しかった患者さんや入居者の表情が和み満面の笑みを浮かべていただいた時や、昔飼っていた愛犬の事を思いだして大粒の涙を零されたり、今までほとんど会話することが無かった方が活発にしゃべり始めたり、動くことが無かった腕を懸命に伸ばそうと努力する姿に、私たちの飼い主たちも施設のスタッフたちも感度をいただいているようです。この「お仕事」は体が動く限りこれからも続けて行きたいと思っていますので皆さん宜しくお願い致します。(M)